

平成 17 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 精 工 技 研
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 野 昌 利
 (コード番号 6834)
 問 合 せ 先 経 営 企 画 室 齋 藤 祐 司
 (TEL . 047 - 388 - 6401)

平成 18 年 3 月期 連結業績予想および個別業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 20 日に公表しました平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) 通期の業績予想 (連結・個別) を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 18 年 3 月期 連結業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,260	660	430
今 回 修 正 予 想 (B)	6,200	1,000	600
増 減 額 (B - A)	60	340	170
増 減 率 (%)	1.0%	51.5%	39.5%

2 . 平成 18 年 3 月期 個別業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,810	680	460
今 回 修 正 予 想 (B)	5,810	890	510
増 減 額 (B - A)	0	210	50
増 減 率 (%)	0%	30.9%	10.9%

3. 修正の理由

当期の上半期は、精機部門の売上高が期初の予想を上回って推移いたしました。これは、DVDの供給能力が需要を上回り、生産ラインの増設は大幅に減少すると見込んでおりましたが、DVD成形メーカーの設備投資意欲が予想以上に底堅く、DVD成形用金型の販売が好調に推移したことに因ります。下半期には、DVD成形メーカーの設備投資に本格的にブレーキがかかると見られるものの、上半期の好調が寄与し、精機部門の通期売上高は期初の予想値を上回る見通しであります。

一方の光製品部門は、平成 17 年 9 月にセイコーインスツル株式会社の光事業に係る営業を譲り受け、当期の下半期の売上高は、上半期から大幅に増加する見込みです。しかし、光製品部門の通期売上高は、期初の予想値を下回る見通しであります。

損益面においては、精機部門の売上高が期初予想を上回る見通しであることに加え、下半期は、原価低減に向けた取り組みに一層注力することにより、通期の経常利益、当期純利益は共に期初の予想値から改善する見通しであります。

なお、平成 18 年 3 月期の期末普通配当につきましては、既に公表した予想どおり、1 株当たり 30 円を予定しております。

以 上